

令和元年6月26日

令和元年度 大阪府北千里高等学校 第1回学校協議会（概要）

【実施日時】 令和元年6月26日（水） 15時30分～17時00分

【実施場所】 化学講義室

【出席委員】 6人中6人が参加

【協議概要】

（1）本年度学校経営計画について：校長より、主に授業改善に向けての取り組みについて説明。

（2）本年度教育活動の報告と今後について：教頭より、今年度の主な学校行事に関する説明。

（3）保護者からの意見提供について：特になし。

（4）質疑・意見交換及び提言

・「総合的な探究の時間」（新カリキュラム）に関して

①どのように取り組みを進めるべきか（専門家がないため、方法を模索中）

探究とは？ ⇒主体性の育成が目的。教授方法はティーチングからコーチングへ。

何をゴールとするか ⇒生徒が何を得るかが大切。失敗も含めた経験を沢山積みさせるべき。

具体案 ⇒地域との連携を深めて、地域とともにプロジェクトを作り上げる。

（くるくるプラザの市民研究員制度への参加や、吹田市のイベントへの参加など）

成功させるには、生徒にとって安心、安全な環境を地域とともに作り上げる教育的愛情が必要。

なお、制限を広くし、大きな枠組みを作る必要がある。

②負担感を少ない取組みにするためには

地域連携マネージャーといった探究を考えられるコーディネーターのポジションを作れないか。

先生の負担増にならないように、今あるものを生かす方向で考えていけないか。（地域連携が必須）

教員集団でチームとしてプロジェクトを構成する。

テーマを絞って「何ができるのか？」と生徒から発想を出させてみるなど、教員がファシリテーターとなって生徒主体で進めてみるのも一つの手段ではないか。

③探究を進学（大学入試）に活かすには

探究を売りにするにはかなりの時間をかけて作っていく必要がある。

学校目標にすると負担感がでてきてしまうため、カリキュラムとの関係性を考えていくべき。

そのために…

- ・大きなプロジェクトを作る。

- ・大きな枠組みを作る。

- ・地域連携して教員の負担を減らすとともに生徒たちの学びへの欲求に繋げたい。

→地域は進んでバックアップする姿勢でいる。今後も継続した地域連携を目指したい。